



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社 銀座山形屋  
代表者名 代表取締役社長 小口 弘明  
(JASDAQ・コード番号8215)  
問合せ先  
役職・氏名 管理部長 渡邊 光潤  
電 話 03-6866-0276

## 特別損失の計上及び通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第三四半期連結会計期間におきまして、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。それを踏まえ、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)通期連結業績予想につきまして下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失について

当社は、2021年3月期第三四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、経営環境の変化等の影響を受け継続して営業損益の悪化となっている連結子会社の店舗・営業所の固定資産(設備等)について、将来収益を保守的に見直した結果、特別損失として減損損失108百万円を計上することといたします。

また当社が保有する投資有価証券の一部について、実質価額が著しく低下したため、減損処理による投資有価証券評価損を7百万円計上いたします。

上記の事項につき、2021年3月期第三四半期連結決算において、特別損失に計上いたします。

#### 2. 通期連結業績予想について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想(B)	3,235	△689	△461	△710	△411.59
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	5,154	△28	38	△262	△152.34

#### (2) 通期連結業績予想の内容と公表理由

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により、算定的前提条件が極めて不確実な状況が続いたため未定としておりましたが、通期の業績予想を算定しましたので公表いたします。

当社グループはオーダーメイドスーツを重点に日本国内において企画・生産・販売体制を構築しております。昨年、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言による厳しい経営環境のなか、感染症拡大を防止するために細心の注意を払いながら小売事業・卸売事業・受託加工事業が売上の維持に努めております。また、昨年10月より2工場体制にすることで販売数量に合わせた生産体制構築をはかってまいりました。

当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度と比べ当第1四半期連結会計期間が58.8%減少、当第2四半期連結会計期間が40.2%減少、当第3四半期連結会計期間が22.9%減少であり、当連結会計年度の着地は37.2%程度の減少で見込んでおります。利益面におきましては、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金および持続化給付金並びに家賃支援給付金等による助成金収入181百万円がありました。閉鎖を決定した北海道工場・岡山工場資産および収益改善の可能性が低いと判断した店舗・営業所資産による減損損失165百万円・事業整理損59百万円を計上したことにより親会社に帰属する当期純損失は710百万円になる予想であります。

新型コロナウイルス感染症の再拡大により2度目の緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況ではありますが、当第3四半期累計期間における当社の事業活動の進捗に基づき、通期の業績予想を算定しましたので公表いたします。

以 上